



男声合唱団 昴ニュース

No.818
2025.3.21

発行：男声合唱団 昴
レッスン会場：
大阪市中央区谷町7丁目1-39
谷町第2ビル308号 ねむかホール
連絡先：090-6058-5652(立川)

第15回コンサート 満員のお客様を迎えて成功!



ステージⅣ 特別団員とともに荒木栄をうたう
(アコーディオン 猪腰あかねさん 川村眞生子さん)

3月～4月の活動予定 (会議を除く)

3/20(木)	16:30	声楽千秋教室Ⅱ
3/21(金)	17:30	定例レッスン
4/1(火)	15:00	T1.2パートレッスン(時間変更にご注意)
4/4(金)	13:30	声楽中村教室
"	17:30	定例レッスン
4/6(日)	13:30	昴友の会総会
	14:00	うたごえ喫茶
4/8(火)	13:30	声楽千秋教室Ⅰ(時間変更にご注意)
"	18:00	Br. Bsパートレッスン(時間変更にご注意)
4/17(木)	16:30	声楽千秋教室Ⅱ
4/18(金)	17:30	定例レッスン
4/20(日)	14:00	定例レッスン

- 15回コンが終わりましたので、4月からT1・2のパートレッスンは元の第1火曜日15:00～、Br・Bsのパートレッスンは、元の第2火曜日18:00～に戻ります。
- 声楽千秋教室Ⅰも、元の第2火曜日13:30～に戻ります。

第15回コンサートを終えて

指揮者 坂井 威文

昴第15回コンサートが無事に終えることができ、ホッとしています。

リハーサルでは正直すこし不安を残す出来でしたが、満員のお客さんを前にして奮起したのか「アメイジング・グレイス」の第一声は見違えるような出だしでした。

続く信長貴富作品はテキストが馴染まなかったり、未体験の難しさであったりと、なかなかご苦労をかけてしまいました。しかし表現力や技術力のアップに寄与したこともプラスの点として挙げたいです。

第2ステージの「LOVE」は「せっかくのコンサートだから知ってる曲も入れて楽しませたい」という想いで選びました。演出が急造になってしまいましたが、後半部分も含めてまたやってみたい曲です。

千秋団長のソロステージは驚異的でした。これからはどのように歌いたいという、団員の目標であり続けてください。

荒木栄特集は、逆に歌ってみた感想や聞いていたお客さんの反応を知りたいところです。「うたごえ作曲家」だけではない荒木栄の印象が変わっていたら嬉しいのですが…。このステージの歌にはとても満足しています。うたごえの原点とでもいうべき、荒木栄を勉強する良い機会になりました。

順番が前後しましたが、「リメンバー」は今回やった中で一番まだまだポテンシャルを感じる曲です。合発でリベンジしたいですね。

合唱発表会の曲目決定

今年の合発(南部7/21、大阪9/14)の曲目は、荒木栄の右の2曲に決まりました。団員が心一つになって歌える曲だと思います。特別団員にも呼びかけていっしょに歌いましょう!

- どんと来い
- わが母のうた

コンサートを終わって

昴団長 千秋 昌弘

第15回コンサート成功を共に喜び合いたいと思います

会場をいっぱいにしての成功は、20名余の団員が、それぞれのつながり、結びつきを生かして、心ひとつに頑張った証だと思います。本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。

坂井指揮者3年目のコンサート成功おめでとうございました。これまでもう一つ溶け合っていないことを感じていましたが、今回は指揮者も団に飛び込んでくれ、団員も指揮者に歌心を委ねた演奏が出来たと思います。

だがまだまだ声が後ろまで届いてなかった、心に響くものが前半足りなかったなどの声も聴いています。

先ず人を増やして昴の声を後ろの席まで届けよう! 一人一人の声をさらに磨いて、昴の響きを届けよう!

この成功を出発点にし、16回コンサートをもっといいものに作り上げていきましょう。何よりも、命・健康を大切に、平和の歌を歌い続けましょう。



ステージ I の舞台



千秋昌弘ソロステージ

千秋昌弘ソロステージの伴奏
ピオラ 小林明日香さん
ピアノ 森二三さん

司会 中村聖保さん

第15回コンサートを終えての感想・反省点など

T2 伊藤 知

[良かった点]

- ・ 昴のコアなファンの方々には楽しんでいただけたこと。
- ・ 指揮者坂井さんの音楽作りに共感・共鳴して歌えたこと（私の実感）。
- ・ 「昴」財政運営に多少の福音をもたらしたこと。
- ・ 昴メンバーそれぞれの得手が活かされたこと。
- ・ 曲目紹介MC・中村女史の司会・歌詞解説配布・IIステビジュアル演出に助けられ、演奏力・表現力不足を補ってもらえたこと。
- ・ 友の会会員と団員ご家族のご協力で表方作業に大きな混乱の発生を防げたこと。

[反省すべき点]

演奏面

- ・ 練習完成度が低いまま本番を迎えたこと。
- ・ 音高届かない演奏、荒削り演奏が目立った。
- ・ レッスン出席率低いメンバー、特に本番舞台間近の貴重な曲作り仕上げ時期への練習習熟が大幅に足りてないメンバーにも本番出演を許したこと。
- ・ レッスン時、指揮者を視野に入れた譜面の持ち方を徹底させる必要あり。

準備運営面

- ・ コンサート会場ホール選択問題。阿倍野区民センター大ホールは対象から外すべき。
- ・ 会場ホール内での空席案内係の配置に関する各所への伝達が不十分だったこと。
- ・ 表方受付部分（もぎり入場・パンフ渡し・当日券販売・当日精算など）の簡素化を図って、表方要員の手間を少なくする必要あり。

これからの昴について

Bs 東尾 博司

第15回コンサートも無事に終わり、ほっと一息ついているところです。

思ったよりもお客さんが入り、昴としては何よりのことと思います。

前回の14回コンは2023年10月22日に行われましたが、その時の出演メンバーは、25名だったと思います。今回のメンバーは23名で、2名の減です。

ここ数年お亡くなりになられたり、他の事情で退団された方があり、米田さんを除いて入部された人はほとんどありません。年々メンバーが減少する一方です。ここで何らかの方法をとらないと、あと4~5年で崩壊しないとも限りません。

私も今年81歳で、あと数年でやめねばならない時が来るでしょう。

数年前に立ち上げた友の会は、ある程度成功しつつあるといえますが、日曜会員のほうは今少しです。もう一度運営委員会で、よく議論する機会を設けねばならないと思います。

若い人に入会してもらうには、今の昴の年齢構成ではおのずから、今の活動パターンも見直さねばならないでしょうし、難しいところです。どうしたら団員を増やせるのか、頭の痛いことですが、少しでも議論して何か活路を見出せないものでしょうか。

演奏会を終えて

Br 大畠成美

苦悩の連続の日々を過ごしてきてやっと終わったという今回の演奏会、本当に大変だった。T2からバリトンに変わったのでほとんどの曲は覚え直さなければならなかったこともあった。

暗譜がこんなに困難に感じたのも初めての経験だった。今までも大変なことは一緒だが困難さが違っていった。今までの何倍も時間をかけないと覚えられなくなっていたことと、覚えても忘れる速さには驚かされた。痴呆に近づいているのかもしれない。一番ショックだったのは、最初の言葉がすぐ出てこないことが度々出るようになったことだ。周りのみんなも同じように悩んでいることを耳にして、お互い大変だなあと思いながら練習に励んできた。本番は、けっこう間違えたけれど、満足している。

この機会に、もう一つ歌は、覚えにくくなくても努力でなんとかできるが、どれだけ頑張ってもうまくいかないものがあり、悩んでいることがあるので、聞いてほしい。それは、音程のことである。パートリーダーをしたり、指揮をしたりして、音程を正しく聞くことはできるが、自分の歌の音程の下がりについて修正できないことである。聞くに堪えない声なら音程正しく歌うことはできるが、きれいな声、いい声など、合唱するときに出す声がうまく出せない。ビブラートもすぐかかってしまう。何年も努力しているが、直せない。団の合唱に迷惑をかけるので、やめる方がいいのかもしれない。どうでしょう。